学校番号	1015

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭	科目	服飾文化	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「服飾文化」　（教育図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・ほとんどが実習（製作）です。そのため、休まないできちんと授業に参加することが大事です。
・提出物は、期日・進度を守りましょう。
・実習を通して伝統的な和服（浴衣）の縫製技術を身につけます。
・自分の個性に応じた着装技術を身につけます。

2　学習の到達目標

１．和服（浴衣）の基本的な構成を理解する。
２．和服（浴衣）の基本的な構成技術を養う。
３．和服（浴衣）の基本的な着装技術を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・和服（浴衣）に関心を持ち、学ぶことで日本文化に対する興味を深めようとする。	・積極的に実習に取り組み、自分の個性を表現している。	・平面構成の特徴を理解し、伝統的な和服（浴衣）の製作実習を通して、具体的に学習する。	・衣服の起源と基本形および洋服と和服の変遷と歴史的背景、気候、風土、文化とのかかわりについて理解している。 ・和服（浴衣）の部位の名称、構成について理解している。
評価方法	・出席 ・取り組む姿勢の観察 ・提出物(プリント・夏休み課題) ・忘れ物	・着装 ・提出物(プリント・夏休み課題) ・レポート	・作品提出 ・進度 ・基本的な裁縫技術	・各学期の中間考査 ・提出物(プリント)

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前後期	着ることと装うこと	・和服(浴衣)の構成の基本 ・和服(浴衣)製作 ・和服の染め・織りと慣習 ・ふだんの和服(浴衣)の着装 ・我が国の通過儀礼時の服飾	○ ○	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○	a: 伝統的な和服（浴衣）に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:積極的に実習に取り組み、自分の個性を表現している。 c: 和服（浴衣）に関する基礎的な技術を身につけている。 d:着装について理解し、日常着と礼服について認識を深めている。	・授業観察 ・各学期中間考査 ・実習への参加度 ・提出物(プリント・夏休み課題) ・忘れ物 ・基本的な裁縫技術 ・着装技術

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解